



# 小網代通信

発行：小網代ヨットクラブ  
〒238-0225  
神奈川県三浦市三崎町小網代  
1385-18  
編集：広報委員会  
編集長：里吉美恵子  
連絡先：office@koaziroyc.jp

Koaziroyc Yacht Club

2023年3月号 VOL-297

2023.3.10 発行

## 今月の内容

	ページ
連絡事項 (編集委員) .....	1
小網代ヨットクラブ会長就任にあたり (飛車角 五十嵐 光) .....	2
小網代ヨットクラブ副会長就任挨拶 (IXORAⅢ 高橋 尚之) .....	2
ANIORU'S CUP2023(外洋学連杯 2023)を振り返って (くろしお 谷口 明香里) .....	3~4

## 今後のイベント予定

3月 KFR : 3月19日(日) Hコース予定 (予告信号 9:55)  
 総務委員会 : 3月20日(月) 20:00~ (Zoomによるweb会議)

## 連絡事項

### 1. 小網代ヨットクラブ定時総会・小網代フリート総会は無事終了いたしました。

2月16日 ZoomによるWeb会議では20艇のオーナー(代表者)の参加をいただき、委任状25票を合わせて議決定足数を満たし、全議案は承認されました。今回、KYC会長と副会長の交代時期となり、会長職には「飛車角」五十嵐光氏が野村政司前会長に代わって就任され、副会長には「IXORAⅢ」高橋尚之氏が推薦され信任されました。お二方のご挨拶を2ページ目に掲載させていただきましたのでご覧ください。

2年間会長職をご担当いただいた野村前会長には、コロナ禍の難しい状況の中で、艇の維持管理は勿論、KYCとしての行動指針を示しながらメンバーをまとめられ、併せて地域との関係を良好に保つようご尽力をされましたことに感謝いたします。お疲れ様でした。

### 2. KFRレーティングが本年度2月から改訂されました。

ホームページの「RACE」⇒「小網代レーティングルール」をご覧ください。伊藤章男計測委員長の「KFR2023レーティングルール解説」も掲載されていますので内容をご確認ください。また、計測にご興味のある方を委員として募集しております。

### 3. 昨年12月号でご紹介しました「アニオールズカップ」が、3月4日(土)5日(日)に開催されました。

KYC所属艇の学生艇3艇が、アニオールズカップに参戦いたしました。コロナ禍での貴重な時間を練習に費やした「桜工」「仰秀」「くろしお」(五十音順)の3艇です。小網代ヨットクラブでは、この大会に協賛し、ポスターをクラブハウス入口に掲示して応援いたしました。

このレースの報告を3~4ページに掲載しましたので是非お読みください。



### 小網代ヨットクラブ会長就任にあたり

飛車角 五十嵐 光

この度、小網代ヨットクラブ会長を拝命致しました五十嵐 光（いがらし こう）と申します。諸先輩方が長年にわたり築き上げてきた歴史と伝統のあるクラブの会長を務めさせて頂くにあたり、大変光栄であり、その重責に気の引き締まる思いです。



私ですが、会社の同僚に誘われ飛車角グループのメンバーとなり約30年となります。白髪で老けて見られることが多々ありますが、今年が還暦と言う年齢で、ヨット歴も含め小網代ではまだまだ若輩者です。飛車角をメインに共同所有艇（Archambault 25、6934 番）や、小網代のクラブ艇などにお邪魔して KFR やパールレース、小網代カップ、小笠原レース等の外洋レースへの参戦や、伊豆諸島を始め、瀬戸内や四国・九州などへのクルージングを楽しんでおります。

また現在、小網代ヨットクラブではルール委員長を、JSAF 外洋三浦 OSC では理事も務めさせていただいております。

コロナ禍で活動が停滞している昨今、安全、安心を主に、クラブをより活性化させ、活気に満ちたクラブとなるよう、またメンバー同士の交流が更に盛んにおこなわれる様なクラブとなるよう、高橋副会長とともに盛り上げていきたいと思っております。まだコロナは完全に収束してはおらず、週末でも小網代であまりメンバーをお見かけできませんが、コロナが落ち着きましたら是非頻りに小網代に来て頂けるかと思います。また、その際はお気軽にお声掛け頂ければ幸いです。尚、コロナ収束まではマスク着用や手指の消毒、3密防止等十分な感染防止対策の上、お越し下さい。

至らない点多々あるかと思いますが、クラブの名に恥じないよう、そしてより良いクラブになるように鋭意取り組んでいきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

.....

### 小網代ヨットクラブ副会長就任挨拶

IXORAⅢ 高橋 尚之

この度、小網代ヨットクラブ副会長を仰せつかりました、IXORAⅢの高橋尚之（なおゆき）です。退任の淡い希望ついえ、クラブハウス委員長と兼任いたすこととなりました。2019年に始まり数々の影響を及ぼした COVID-19、今年も感染リスクをコントロールしながら「楽しく」より楽しく過ごしたいと考えております。



当面、クラブハウス利用制限緩和、救命救急講習復活、クラブハウス計画修繕・改善などの陸側から五十嵐会長をささえてまいる所存です。内弁慶と同じニュアンスでの「陸弁慶」そのまた手前の高橋、ぜひとも皆様のお力添えをお願いいたします。

自己管理がもとにある K Y C 会員の皆様のジェントルな要望、深い理解、惜しみない協力がわたくの大好き物です。

## ANIORU'S CUP 2023 (外洋学連杯 2023) を振り返って



こんにちは。千葉大学4年の谷口明香里（くろしお）です。昨年末から小網代ヨットクラブの広報委員を務めさせていただいています。また、今回ご報告する、ANIORU'S CUP 2023 では大会実行委員として運営に携わりました。

はじめに、ヨットクラブの皆様からは多大なご支援、ご協賛を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

### ■ ANIORU'S CUP (アニオールズカップ)

日本学生外洋帆走連盟（外洋学連; JIOSF）による年に一度開催されるレガッタで、キールボート学生日本一を競います。アニオールは外洋学連の旧名称 All Nippon Intercollegiate Offshore Racing Union (ANIORU) に由来します。2023年は、昨年を引き続き、愛知県の三河みとマリーナが所有するJ/24を使用してワンデザインレガッタとして蒲郡沖で開催されました。

本大会の特徴は、出場できるのは3年生までで、大会準備およびレース運営は4年生が担っている点です。約1年間かけて大会に向けて準備してきた4年生にとっては、下級生が勝つことを目標にレースに挑んでいる姿を見ることは、この上ない幸せです。また、本レガッタではアンパイアが海上審判を行う、オン・ザ・ウォーター・ジャッジ制が採用されている点も珍しいです。

小網代からは、千葉大（くろしお）、東大（仰秀）、日大（桜工）の3校が参加しました。昨年、千葉大と日大は東京都市大も含めた合同チーム（オープン参加）を結成してアニオールズカップに参加しましたが、今年千葉大、日大ともに単独チームとしての参加が叶いました。

～開催概要～

場所: 蒲郡沖(愛知県)


日時: 3月4-5日

参加校:

慶應義塾大、神戸大、千葉大、東大、日大、防衛大

その他 学連加盟校:

甲南大、東京都市大、明治学院大




▲アンパイア（今津さん、渡邊さん）よりルール講習

### ■ レース1日目

北西の風が吹き荒れる中での開幕となりました。時折 20kt を超えるブローが吹き、オーバーヒールやブローチングをする船が絶えず、選手たちは苦しめられました。第3レース終了後、APH旗の掲揚とともにひとまずハーバーに戻り、引き続きレースができる海面状況になることを祈り、陸で待ちました。しかし、風が弱まることはなく1日目は神戸大を首位に置き、それに続いて慶應大、東大、防衛大、千葉大、日大という順位で終了しました。



▲東大チーム



▲千葉大チーム



▲日大チーム

## ■ レース2日目

1日目の強風とは打って変わって、煙突からの煙が一切なびかない無風となった2日目。風を求めてレース海域を大きく南に変え、レースを行いました。普段からJ/24で練習をしている東大と神戸大の競り合い、慣れない船ながら上位に食い込む勢いで上マークにアプローチをした日大と千葉大。各校がライバルでありながらも、複数の観覧艇からの応援も相まって、コナ禍で一度は途絶えかけた外洋学連が再び一つにまとまろうとする兆しも見えました。

2日目の2レースも含めた全5レースのANIORU'S CUP 2023の総合成績は以下の表のとおりです。

順位	大学名	艇番号 (1日目)	艇番号 (2日目)	3月4日			3月5日		ポイント
				第1レース	第2レース	第3レース	第4レース	第5レース	
1	神戸大学	水色-5	白-1	1	2	1	1	2	5
2	東京大学	緑-6	水色-5	2	1	OCS	2	1	6
3	慶應義塾大学	濃紺-2	濃紺-2	3	3	2	6	5	13
4	防衛大学校	赤-3	緑-6	4	4	3	3	3	13
5	千葉大学	白-1	赤-3	5	6	4	5	4	18
6	日本大学	黄-4	黄-4	6	5	DNF	4	6	21

	第1レース	第2レース	第3レース	第4レース	第5レース
スタート時間	10:20:00	11:15:00	12:10:00	9:20:00	10:12:00
風向	290	290	290	330	305
風速(kt)	13	13	13	3.5	5

## ■ 小網代の学生より

### 東京大学 (2/6位)

今年こそは優勝を目指していましたが、残念な結果に終わってしまいました。ミスが目立ったり、良いレースを演じられなかったり、とまだまだ実力不足であることを痛感しました。とはいえ、学連の仲間と競り合える貴重で楽しい機会でした。これからも努力を重ね来年こそは必ず優勝します。(東大・新4年・伊東)

### 千葉大学 (5/6位)

千葉大の目標は安全に走り切るということでしたが、私達新4年生にとっては最後のANIORU'S CUPであったため、いざレースを終えてみるともっと良い結果が残せたのではないかと非常に悔しい思いが残りました。今回の大会は後輩にとって非常に良い経験になったと思うので、来年は千葉大がもっと良い結果が残せるよう先輩としてサポートして行きたいです。(千葉大・新4年・須藤)

### 日本大学 (6/6位)

マリーナ及び運営の皆様、本大会では大変お世話になりました。学生同士で競い合えたことで大変刺激を受けました。来年度は運営に携わり、大会を成功させたいと思います。お疲れ様でした！PS.トラブルが多く大変ご迷惑をおかけしました。この御恩は今後の学連行事で返したいと思います。(日大・新4年・立原)



▲レース委員長を務めた青木さん (東大4年)



▲参加校6校による集合写真



▲レース2日目の上マーク付近